

若手職員政策検討会議提案書

若手職員政策検討会議は、「若者が魅力を感じられるまち」を共通テーマに、5つのグループに分かれてロジックモデルを用いたワークショップの手法により、市民・民間と行政のそれぞれの役割を意識しながら、成果が出そうなもの、実現できそうなもの、力を入れるべきものといった視点から、検討を行ってきました。

検討の過程では、必要な情報の伝達や働く場・集いの場の不足など、地域の現状や課題を認識する中で、主に情報発信や産業振興、イベント・活動支援などが必要であるとの意見が多く出されました。

また、この会議を通じて、大変厳しい社会経済情勢のもとで、市職員自らが創意工夫して市民・民間と役割分担しながらともに取り組んでいくこと、できることから始めようという姿勢が求められることなどを実感しました。

以上を踏まえ、若者が魅力を感じることができるような事業や取組について、次のように取りまとめましたので、ここに提案いたします。

平成21年2月24日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

若手職員政策検討会議

代表 山本 好太郎